|  |  |
| --- | --- |
| **栃木県立富屋特別支援学校鹿沼分校の中学部部活動に係る活動方針** | |
| 目標 | ○運動に興味や意欲をもち、主体的に取り組む態度を養う。  ○仲間との協調性や友情を育む。  ○継続的に活動することで、体力、技術、表現力の向上を図る。  ○活動に対し安全を意識して取り組む態度を養う。 |
| 休養日 | ○原則として実施は毎週水曜日とし、その他曜日と週末の土曜日、日曜日、合わせて週当たり６日を休養日とする。 |
| 活動時間 | ○水曜日の１４時５０分から１６時００分まで７０分間実施する。  ○大会に向け特別に計画した日。  　※職員の会議、研修等の行事がある場合は実施しない。 |
| 設置する部活動 | 中学部部活動（中学部全学年の男女） |
| 大会参加 | 中学部部活動が参加できる大会は次のとおりとする。ただし、参加に当たっては、生徒の健康面及び安全面に十分配慮する。  ○全国障害者スポーツ大会リハーサル大会  ○ハートピック陸上競技大会  ○ハートピックユニホック大会 |
| 部  活  動  の  運  営 | 1. 適切な運営のための体制整備   ○部活動実施要項及び活動内容については、中学部の実情に応じて計画・運営する。  ○部活動の実施については、顧問（中学部職員）が指導にあたる。  ○入部の際には体験期間を設け、適切に活動できるか、入部基準を基に総合的に顧問が検討し入部の判断を行う。   1. 活動における安全管理の徹底   ○部活動の担当については、活動内容や安全面を考慮し、割振りや人数を配置する。  ○安全対策については、活動する環境の点検を適宜行う。また、顧問間の報告・連絡等を徹底し、事故やけが等が起きた際には速やかに対応できるようにする。  ○適切な運営のための体制整備のために、緊急時対応マニュアル（学校事故等連絡体制）に基づいて行う。  ○水分補給や健康観察を徹底し、必要に応じて塩分タブレットを補給する。塩分タブレットは部活動係が常備しておく。  ○熱中症対策としてWBGT計を携行し、随時、熱中症予防の注意喚起を行う。  ・WBGT計の温度基準が２８℃～３１℃・・・係・学部主事で内容を検討する。  ・３１℃を越えた場合・・・直ちに活動を中止する。  ○密閉、密集、密接を避けた活動内容・活動場所を検討する。  ○活動参加前に必ず検温並びに症状の有無を確認し、体調の悪い生徒は参加はさせない。  ○活動前後に手洗い、うがいを徹底する。  ○用具を使用した際は、活動終了後アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを行う。  ○過去２週間以内に発熱や喉の痛み、倦怠感等その他の症状があった生徒は、参加させない。  ○マスクの着用については、国や県の指針を参考にして対応する。基本的には熱中症対策を考慮しながら、マスクを着用して活動し、呼気が激しくなる活動や気候の状況等によっては、適切な間隔を空けた上で、マスクを外すようにする。なお、指導者については原則マスクを着用する。  ○室内での活動時は必ず換気を行う。   1. 体罰等の禁止   ○部活動顧問はいかなる理由があっても、部活動の指導において体罰等を厳しい指導として正当化することは誤りであり、決して許されないものであるとの認識をもち、体罰等のない指導に徹する。  （4）保護者の理解と協力を得た活動  ○保護者の理解と協力は、部活動を運営する上で欠かすことができない。活動の目標や方針、活動内容について、ホームページや通知等で保護者に周知する。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **栃木県立富屋特別支援学校運動部の活動方針及び年間活動計画** | | |
| 月 | 参加予定大会等 | その他 |
| ４月 |  |  |
| ５月 | ２2日（日）第２２回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会  （該当生徒のみ） |  |
| ６月 |  |  |
| ７月 |  |  |
| ８月 |  |  |
| ９月 | ２３日（金）第２８回ハートピック陸上大会（該当生徒のみ） |  |
| １０月 |  |  |
| １１月 |  |  |
| １２月 | １７日（土）第２１回ハートピックユニホック大会（該当生徒のみ） |  |
| １月 |  |  |
| ２月 |  |  |
| ３月 |  |  |